

暮らしと貨物輸送を考える

北海道新幹線は、駅名も「新函館北斗」と決まり、平成28年3月の開業を目指して、着々と準備が進められていますが、青函トンネル（両端を含め）内は新幹線と在来線型の貨物列車が共に走行する『共用走行区間』となっています。

北海道は、第一次産業が発達し日本の食糧基地ともいわれ、安全・安心な食糧を安定的に供給することが社会的使命となっており、これらの生産品・加工品の輸送が重要となっていますが、この『共用走行区間』において貨物列車走行に少なからぬ影響があるような報道もなされています。

このような状況を受けまして青函トンネルの共用の重要性をテーマにシンポジウムを開催することと致しました。北海道の主産業である一次産業、観光産業発展のために一緒に考えてみませんか。多数の方々のご参加をお待ち致しております。

開催日時

平成26年7月28日(月) 13:30 から

開催場所

センチュリーロイヤルホテル 20F グレイス
札幌市中央区北5条西5丁目 ☎ 011-221-3002

定員

200名 参加無料 参加申込は裏面参照

お問合せ先

一般財団法人北海道運輸交通研究センター
☎ 011-738-0062 担当 山本

共 催 一般財団法人北海道運輸交通研究センター
日本物流学会北海道支部

後 援 日本貨物鉄道株式会社
北海道通運業連盟
公益社団法人鉄道貨物協会北海道支部

プログラム

13:00

開 場

13:30 ~ 13:40

開会・主催者挨拶

主催者 日本物流学会北海道支部 支部長
北海商科大学 教授

佐藤 馨一

13:40 ~ 14:20

基 調 講 演

演 題 『青函共用走行がもたらす地域経済への影響評価』
～産業連関分析に基づく試算～

講 師 北海商科大学 商学部長 教授
北海商科大学 教授

阿部 秀明 氏
相浦 宣徳 氏

14:20 ~ 14:30

休 憩

14:30 ~ 16:00

パネルディスカッション

パネリスト

ホクレン農業協同組合連合会 管理本部 物流部物流三課 課長
溝 渕 元 康 氏

北見商工会議所 副会頭
北見通運株式会社 代表取締役社長 舩 川 誠 氏

札幌商工会議所 運輸自動車部会 部会長
公益社団法人北海道トラック協会 会長 伊 藤 昭 人 氏

北海商科大学 商学部長 教授 阿 部 秀 明 氏

北海商科大学 教授 相 浦 宣 徳 氏

コーディネーター

北海商科大学 教授 佐 藤 馨 一 氏

16:00

閉 会

参加申し込み方法

参加をご希望される方は、参加申込書に記入の上、FAXにより下記の宛先に送信をお願いします。
また、メールにより申込まれる場合は、下記アドレス宛に、企業団体名、参加者のお名前、お役職をお知らせください。なお、準備の都合上**申込期日を平成26年7月22日（火曜日）とさせていただきます。**
※送付いただいた個人情報は当シンポジウム開催に関してのみの使用とさせていただきます、他の目的には使用いたしません。

FAX 011-738-0063

メールアドレス seminar@hotrec.or.jp

参加申込書		申込月日	月	日
企業団体名				
参加者	お名前	お役職		